

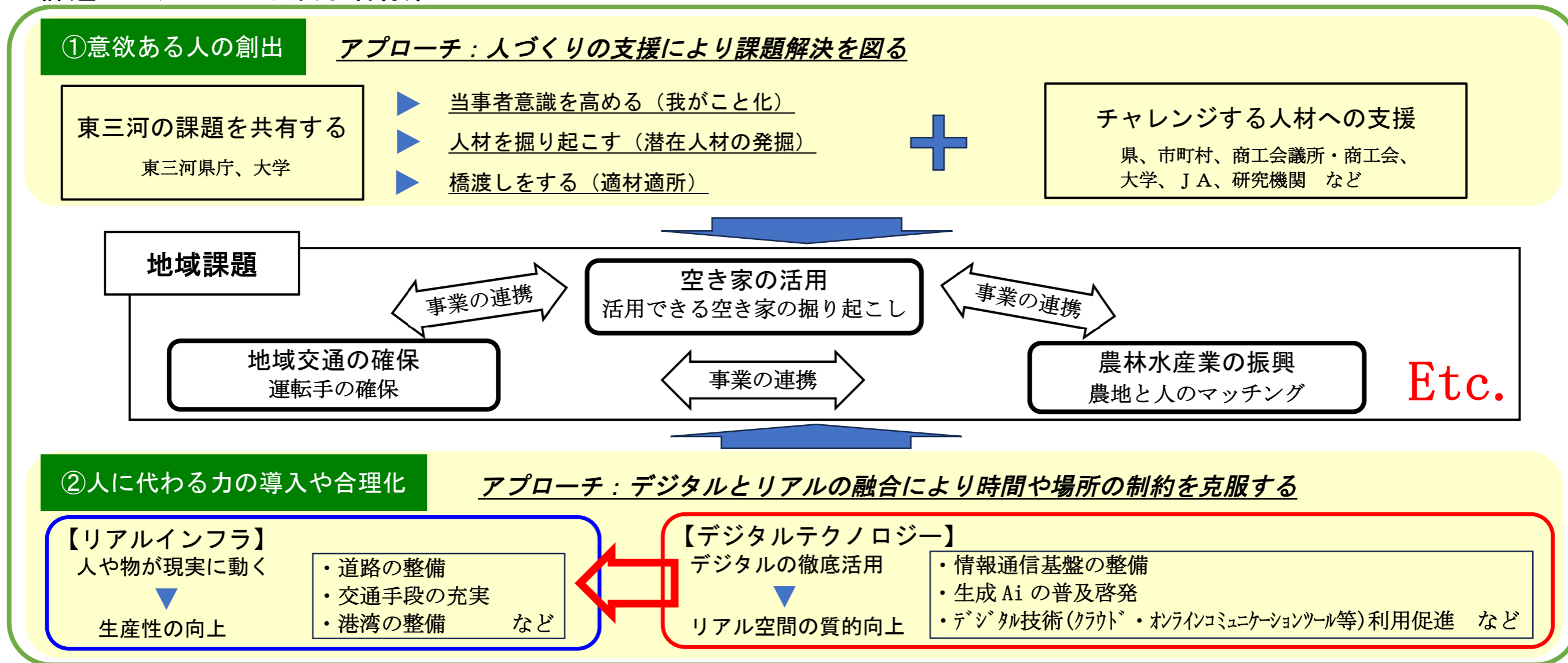
# 2026 年度重点プロジェクトのテーマ及び方向性、スケジュール

## 1 テーマ及び方向性

○2024年度第1回東三河ビジョン協議会（2024年8月22日）の開催結果

- ・重点プロジェクトの土台となる考え方は、「人口減少に立ち向かい、住み続けられる地域を維持する」
- ・特定の分野に限らず、意欲ある人を創出し、人に代わる力の導入や合理化を促進

## 2 課題へのアプローチ及び名称案



市町村界を越えた生活圏の強化 ▶▶▶ 安心安全に暮らせる+α

2026年度重点プロジェクト名称（案）

楽しく住み続けられる地域生活圏の形成に向けて  
～人口減少に向き合い、活力ある東三河へ～

### 3 プロジェクト事業期間

年度	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
2026年度重点プロジェクト事業期間(2026 - 2030)				テーマ及び方向性を決定	プロジェクトチーム調査・実証実験プロジェクト策定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #fff9c4;">           人材の発掘や育成、DXの推進、合理化や集約化等を複数の分野で取り組む総合的なプロジェクトになることから、<u>次期東三河振興ビジョンへの橋渡し</u>を担う特別なプロジェクトに位置づけ、事業期間を次期ビジョン策定年度までの<u>5年間</u>とする。         </div>				
東三河振興ビジョン 2030	策定				中間見直しに向けた調査	中間見直し				現行ビジョン終了次期ビジョン策定

### 4 2025年度のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ビジョン協議会					分野・取組項目を協議							プロジェクト策定
企画委員会	プロジェクトチームメンバーの選定		分野・取組項目を協議							プロジェクト案を協議		
プロジェクトチーム		活動開始	重点プロジェクトの対象とする分野や取組案に応じて、柔軟にメンバーを追加取組案の実施主体を掘り起こし									
調査・実証実験(東三河総局)			人材の発掘や育成に関する意識調査や、若い世代や外国人などの属性に応じた地域活動等を想定									

愛知県・市町村人口問題対策検討会議の結果などにより、各種制度の改正等があれば、それらを踏まえて重点プロジェクトを策定する。

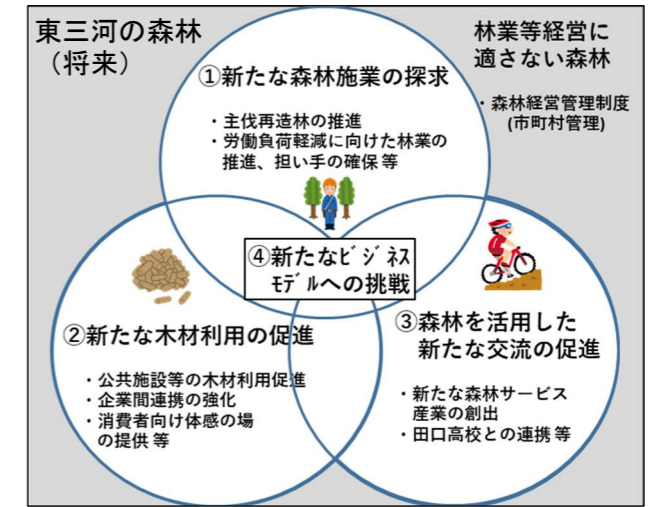
事業目的


森林関連産業における新たな収益事業の構築や既存事業の強化拡大・連携推進を図り、成長化に向けた可能性を探ることで、豊かな森林資源を活かした東三河の振興を目指す。

目標管理指標 (計画期間：2024 年度から 2026 年度までの 3 年間)

- ・ 林業における新たなビジネスモデルの構築件数 1 件以上
- ・ 林業以外における森林を活用したサービス事業の開発件数 4 件以上

事業実施状況及び事業計画



事業方針	事業項目	2024 年度実施状況	2025 年度事業計画	2026 年度事業計画
新たなビジネスモデルへの挑戦	1. 森林信託制度の導入検討	<p>○森林信託導入可能性調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 候補地及び隣接地の権利関係調査や財産確定に係るコストを算定</li> <li>・ サプライチェーン状況のヒアリング調査を実施</li> <li>・ 一定の仮条件の下で、地区における収支の試算や事業実現性を算出</li> <li>・ 一定の仮条件の下で、法令確認や信託リスクの確認、信託契約形態の整理等を実施</li> </ul> <p>○地方分権改革に関する提案（地方に対する規制緩和に係る提案）を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容「財産区の土地を森林の施業・管理を目的として信託可能とすること。」</li> </ul> <p>⇒12/24 に「令和 6 年の地方からの提案等に関する対応方針」が閣議決定</p> <p>地方公共団体の普通財産である土地の信託については、令和 6 年度中に、政令を改正して森林の施業・管理を目的とした信託も可能とし、その運用に当たっての留意事項を含め、地方公共団体に通知する。</p>	<p>制度の導入可能性調査</p> <p>候補地における制度導入可否の判断</p>	<p>制度の運用</p> <p>制度の普及啓発</p>
	2. カーボンニュートラル社会の実現につながる主伐再造林の推進	<p>○主伐、再造林等に対する補助（周知、指導等）を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東三河地域内における相談件数（20 件 4/1～2/28）</li> <li>・ 補助制度周知のリーフレットを更新</li> <li>・ リーフレットや Web ページ等による周知を実施</li> </ul>	<p>県による主伐・再造林等に対する補助制度の実施</p>	
新たな森林施業の探求	3. J-クレジット制度の推進	<p>○西三河管内の県有林における森林クレジットの創出に向けた取組の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 森林クレジット認証</li> <li>・ 2/25-3/7 「愛知県県有林 J-クレジット」を販売（2024 年度販売量：200t-CO<sub>2</sub>、価格：1t-CO<sub>2</sub>あたり 11,000 円）</li> </ul> <p>○流域内の企業とのマッチングに向けた取組の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3/4 森林クレジット活用セミナーを開催</li> </ul>	<p>J-クレジット制度に関する情報の共有・活用の検討</p>	
	4. 労働負荷軽減に向けたスマート林業、境界の明確化に向けた取組等の推進	<p>○ドローンによる運搬のデモンストレーションを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/10 新城市富岡字猫藪地内（参加者 25 人）</li> <li>・ 11/28 豊根村下黒川字本洞地内（参加者 40 人）</li> </ul> <p>○ICT を活用した取組の実施状況をプロジェクトチームで共有</p>	 <p>ドローン活用実証・普及啓発</p> <p>ICT を活用した取組情報の集約・重点 PT による共有</p>	
	5. 担い手確保	<p>○森林組合のパンフレット等を配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/21、22 「ふるさと回帰フェア 2024」（会場：東京国際フォーラム）</li> <li>・ 1/18、19 「ディスカバー愛知フェア」（会場：クイーンズスクエア横浜）</li> </ul>	<p>東京圏移住イベント等を活用した林業への関心拡大に向けた啓発等の実施</p>	

事業方針	事業項目	2024 年度事業内容	2025 年度事業計画	2026 年度事業計画
新たな木材利用の促進	6. 企業間連携の強化	<p>○東三河地域で木材の展示会、体験会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/24、25 ウッドワンダーランド in 東三河 (こども未来館ここにこ) 来場者数：子どもづれ家族等 約4,500人</li> <li>・11/21、22 ウッドコレクション in 東三河 (豊橋市総合体育館) 来場者数：木材関係事業者等 約700人</li> </ul> <p style="text-align: right;">ウッドワンダーランド in 東三河</p> 	<p>企業展示会・交流会の実施</p> <p>ウッドコレクション in 東三河の開催</p>	
	7. 住宅等の木材利用、サーキュラーエコノミーの推進	<p>○木質体感ショールームを設置</p> <p>構造躯体、カタログスタンド、ベンチ等を展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/3～8/22 emCAMPUS</li> <li>・8/27～9/27 東三河総合庁舎</li> <li>・10/3～11/4 こども未来館ここにこ</li> <li>・1/15～2/10 東三河総合庁舎</li> </ul> <p>○地域材を使用した戸建住宅建築補助制度の実施状況をプロジェクトチームで共有</p>  <p style="text-align: center;">木質体感ショールーム</p>	<p>消費者向け木造・木質化の体感の場 (木質体感ショールーム) の設置</p> <p>市町村による地域材を使用した戸建住宅建築補助制度の実施・拡充</p>	
	8. 公共施設の木材利用促進	<p>○公共建築物の木材利用計画及び実績リスト (令和元年度～令和5年度実績・令和6年度以降計画) を作成し、プロジェクトチームで共有</p> <p>○東三河総合庁舎 総合受付スペースを木質化</p> <p style="text-align: right;">木質化した総合受付スペース</p> 	<p>公共施設 (県・市町村) への地域材利用の促進</p> <p>東三河総合庁舎 エントランス木質化</p>	
森林を活用した新たな交流の促進	9. 森林サービス産業の推進、森林を活かした環境学習と上下流交流の促進	<p>○森林サービス産業の造成に向けた取組の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県や首都圏の企業等を対象に森林サービス産業のニーズ調査を実施</li> <li>・東三河の事業者を対象とした勉強会を開催し、意欲のある事業者を把握</li> <li>・社員研修・チームビルディング・福利厚生、CSR・SDGs などに関心のある企業等を主なターゲットとするモデルプランを造成中</li> <li>・モデルプランの一部を体験できるモニターツアーを実施</li> </ul> <p>12/2 設楽コース (テーマ：獣害対策、ジビエ) 参加者8名 12/3～4 新城コース (テーマ：山を守る林業、木材活用、スポーツ) 参加者4名 12/5 東栄コース (テーマ：リラクゼーション) 参加者11名 ⇒モニターツアー参加者の意見をモデルプランに反映し、プランをブラッシュアップ</p> <p>・2/7 林野庁主催「山村と企業をつなぐフォーラム」に参加しPR</p>  <p style="text-align: center;">モニターツアー (東栄)</p>	<p>森林サービス産業 創出支援</p> <p>森林サービス産業 PR</p> <p>森林サービス産業 自走に向けた検討</p>	
	10. 田口高校との連携	<p>○県教育委員会と連携協力し、田口高校の魅力化を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カリキュラムを開発中【アウトドア】【探究+キャリア教育】【スマート林業】</li> <li>・木工事業者「木と革 aoyama」と田口高校によるコラボ商品 (積み木) を開発</li> <li>・10/5、6 ウッドワンダーランド 2024 (モリコロパーク) に出展し、田口高校をPR</li> </ul> <p>○田口高校製作木工品の購入実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東栄町 (木製ベンチ)</li> </ul>  <p style="text-align: center;">ベンチ納品の様子</p>	<p>田口高校魅力化事業</p> <p>学習カリキュラム 開発</p> <p>県・市町村による 田口高校製作木工品の購入・PR</p>	

## 2022年度重点プロジェクト「大都市の企業・個人を対象とした東三河関係人口、移住・定住の創出」の実施状況について

## 1 関係人口の創出

## (1) ビジネスマッチングを通じた関係人口の創出

## ア 東三河めぐる MeetUp の開催

東三河地域の豊かな食と農を首都圏に向けてPRし、ビジネスマッチングにつなげるとともに、首都圏において東三河へ「高い関心を持つファン」を作り、関係人口や移住希望者の増加を図った。

開催場所：3×3LabFuture

(東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOS ビル 1階)



第1回交流会の様子

	開催日時	主な参加者	参加人数
第1回	2024年10月3日(木) 18:00～	知事・副知事 東三河市町村長 首都圏企業・団体	首都圏 70名 東三河 44名
第2回	2025年1月14日(火) 18:00～	東三河企業 首都圏企業・団体	首都圏 32名 東三河 14名

## イ 東三河企業と大都市個人とのマッチング

東三河企業の抱える課題を首都圏等の企業に勤務する人材を活用して解決する取組により、関係人口の創出を図った。

<事例1：福井酒造(株)×広告代理店勤務PRプランナー> (2023.6.1～)

日本酒の新しい楽しみ方として「日本酒表情図鑑」を作成し、日本酒のPRを行っている。

本プロジェクトをきっかけに、福井酒造の日本酒を東京都内の飲食店やシェアハウスのメンバーと楽しむなど、商品理解と関係人口の輪を広げる活動を行っている。また、個人が務める会社内で興味を持った別の社員もプロジェクトに加わるようになり、プロジェクトに参加した個人を中心に、東三河地域との関係人口の創出につながっている。

<事例2：ダイケン商会(株)×広告代理店勤務PRプランナー> (2024.2.1～)

ダイケン商会が展開するBtoCモデルのSDGsスイーツプロジェクトAMULATEの周知・売上拡大を目指す。

<事例3：未定×広告代理店勤務PRプランナー> (マッチング中)

参加予定のPRプランナーは、経営者と直接プロジェクトを実施する経験、自分がメインプランナーとして企画を実施する機会を求めており、東三河企業とマッチング中。

## (2) ボランティアを通じた関係人口の創出

## ア 歴史をテーマとした実証実験の実施

市町村文化財担当課と連携し、歴史をテーマとしたボランティアの広域的な募集を実施(6団体10事業)。8月から募集開始。[今年度新規参加者：86人]

## イ 草刈りをテーマとした実証実験の実施

地域活動で、担い手不足として課題となることが多い「草刈り」に着目し、担い手創出の一環として「草刈り」をテーマとした講座を実施。

実施結果：

実施内容	実施日[参加人数]
刈払機の安全講習会	8/3(土)[8人]
大学生向け地域活動学習プログラム	8/17(土)[4人]、18(日)[4人]、10/27(日)[4人]、11/24(日)[6人]
おしゃれ農業女子会	11/30(土)[9人]

## (3) 関係人口創出セミナーの開催

東三河地域で関係人口の創出・増加を図る取組を実践している方を対象に、これから地域と関わりを持とうとする人に対して地域課題の課題解決等に継続的に関わるきっかけをどのように提供していくか等について、専門的・実践的なセミナーを開催。

	テーマ	開催日・開催場所	参加者
第1回	イベントホームステイ(イベント民泊)	9/19(木) 13:30～15:00 新城文化会館	27名
第2回	空き家問題について(空き家予防の方法や利活用の周知のコツ)	1/30(木) 18:00～19:30 市民センターほうらい	32名

## (4) 東三河の魅力啓発資料の作成

東三河地域内の小学4年生を対象に、昨年度に引き続き「だもんで豊橋が好きって言っとるじゃん！」の作者漫画家佐野妙氏による4コマ漫画等を使った地域の魅力を紹介するパンフレットを作成・配布した。

配布時期：11月

配布実績：東三河の各小学校(特別支援学校含む)132校9,102部 東三河8市町村340部

## (5) 重点PT構成団体による2024年度における取組等

- ・豊橋ゆかりの作品を活用した情報発信、ふるさと納税の強化(豊橋市)
- ・豊川市広報大使の俳優を活用したプロモーション(豊川市)
- ・ディズニーパレードや堤防アートの実施(蒲郡市)
- ・軽トラの荷台で地場産の新鮮野菜や特産物等を販売する軽トラ市の開催(新城市)
- ・ふるさと納税の強化、渥美半島たはらマルシェの開催(田原市)
- ・田口高校お仕事フェア(北設楽郡の事業所の紹介)の開催(設楽町、東栄町、豊根村)
- ・オリエンテーリングイベントの開催(設楽町)
- ・田んぼオーナーになって農業体験をする「いただきファーム」の実施(豊根村)

## 2 移住・定住の促進

### (1) 東京圏移住イベントの実施

#### ア ふるさと回帰フェア

日本最大級の移住イベントに出展。2024年度は東三河地域で統一したブース装飾をすることで、他地域との差別化を図ることができ、高いPR効果を発揮した。

会場：東京国際フォーラム



東三河ブースの様子

	2022年度	2023年度	2024年度
開催日	2022年9月25日(日)	2023年9月17日(日)	2024年9月21日(土)、22日(日)
内容	愛知県2ブース(東三河総局、市町村課)	愛知県2ブース(東三河総局、市町村課) 豊橋市、蒲郡市、新城市	愛知県3ブース(東三河総局、市町村課2ブース) 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市 ※市町村課1ブース、豊橋市、田原市は22日のみ
相談件数	35件	65件	203件

※相談件数は愛知県と市町村ブースの合計

#### イ JOIN 移住・交流&地域おこしフェア

会場：東京ビッグサイト

	2022年度	2023年度	2024年度
開催日	2023年1月14日(土)、15日(日)	2024年1月13日(土)、14日(日)	2024年12月7日(土)、8日(日)
内容	愛知県1ブース(市町村課)	愛知県1ブース(市町村課) 蒲郡市、設楽町	愛知県1ブース(市町村課) 新城市、設楽町
相談件数	33件	35件	20件

※相談件数は愛知県ブースのみ

### (2) 東三河地域の魅力等の情報発信

東三河地域の魅力を盛り込んだYoutube動画を作成し、2月21日に公開。首都圏の移住に関心のある人へ広告配信を行ったところ、5,924回(2025.3.5現在)再生されている。視聴者の属性(年齢、性別など)を分析し、今後の移住施策の効果的なアプローチにつなげる。

### (3) 移住ポータルサイトの拡充

昨年度に引き続き、東三河に活動拠点を設け全国展開している上場企業やベンチャー企業等の特徴的な取組を移住ポータルサイトで紹介し、首都圏に向けてPRを行った。

新規掲載企業：愛知海運産業株式会社、イノチオホールディングス(株)、したらワークス(協組)、新富士バーナー株式会社、(株)スペース、関谷醸造(株)、東海交通(株)、本多電子(株)

### (4) お仕事紹介の電子教材作成

奥三河地域に誇りを持ち、将来における就業のきっかけとなるよう奥三河の地域資源やそれに関わる事業者を効果的に紹介する電子教材を児童・生徒向けに作成し、新城設楽振興事務所の公式webサイトに1月17日公表。

掲載地域資源：星空、花祭

掲載事業者等：(株)豊栄工業、しんしろ軽トラ市のんほいロット、(株)戸田工務店、瀧川オブラート(株)、(株)はづ、農業生産スフィード、アンディの家 Honey shop & café、関谷醸造(株)、愛知県立田口高等学校林業科、(有)麻野間園芸、(株)つぐや、(有)マルツ、三信鋳工(株)、(有)志多ら、茶禅一、(株)月食鶏、小早川武史氏、御宿清水館、豊根森林組合

### (5) 重点PT構成団体による2024年度における取組等

- ・移住フェアで定住・移住アドバイザーによる相談を実施(豊橋市)
- ・移住定住促進のためのプロモーション動画の作成(豊川市)
- ・移住体験ツアーの実施(蒲郡市)
- ・ふるさと回帰支援センターと連携し、出張相談デスク(相談会)を開催(新城市)
- ・サーフィン大会で移住ブースを出展(田原市)
- ・したらワークス協同組合と連携しながらの移住相談(設楽町)
- ・移住補助制度「とうえい暮らしのカラフルパッケージ事業」の実施(東栄町)
- ・村内見学ツアー「とよねツアーズ」の実施(豊根村)
- ・東三河地域外で開催される合同企業説明会の出展料補助(東三河広域連合)
- ・「豊橋商工会議所無料職業紹介所」による中途人材の採用支援(東三河広域経済連合会)

## 3 進捗管理指標等

### (1) 進捗管理指標(2022年度～2024年度)

指標	2022年度末	2023年度末	2024年度(速報値)	目標(2024年度末)
ふるさと回帰支援センター(東京)の移住希望地ランキング(愛知県)	21位以下	21位以下	21位以下	20位以内
コーディネート機能による、東三河の各地域への訪問回数(オンライン含む)	75回	129回	113回(累計317回)	250回(3か年累計)
大都市の移住者受入窓口と東三河の市町村等との情報交換会の開催回数	2回	2回	2回(累計6回)	6回(3か年累計)

### (2) 外部機関による評価

- ・「共働き子育てしやすい街ランキング2024」(日本経済新聞社と日経BP「日経xwoman(クロスウーマン)」)総合編全国8位(東海地区1位)(豊橋市)
- ・「住みたい街 駅ランキング(愛知県版)2024」(大東建託「賃貸未来研究所」)第3位「豊橋鉄道東田本線 運動公園前」(豊橋市)、第4位「JR 東海道本線 三河塩津駅」(蒲郡市)、第5位「名鉄本線 御油」(豊川市)